



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和5（2023）年3月24日 第12号

文責：校長 佐藤 正貴

## 卒業式を終えて

昨日、無事に6年生126名の卒業証書授与式を終えることができました。最初の練習を見たときは若干心配になりましたが、小学校最後の授業である卒業式に向けて、担任と一緒に創り上げていく姿を見ながら、逞しさと頼もしさを感じました。凜とした態度、素敵なお歌声、そして自分たちの夢に向かっていく決意を述べる姿に感動しました。全員が同じ中学校に進学するわけではありませんが、中央小でともに育ち、学んだことを忘れずに、夢に向かって努力していってくれることを期待しています。



## 1年間を振り返って・・・

1年前に本校に赴任して、右も左も分からない状態からのスタートでした。分からないことが多いと、不安が大きくなります。そんな年度始を迎えたことも久しぶりでした。しかし、教育委員会をはじめ、近隣校の校長先生方、そして何より本校の職員、保護者の皆様方、地域の皆様方に助けられながら1年を終えることができたことに感謝しております。

さて、今年も新型コロナウイルス感染症への対応が必要な1年でしたが、令和5年に入り、徐々に実施できる教育活動が増えてきました。それに伴い、子どもたちの行動にも表情にも、少しずつ活気が戻ってきました。その姿から、やはり新型コロナウイルス感染症の影響は、子どもたちにとってかなり大きかったということを感じています。これから徐々に対応が変わってくると思いますが、子どもたち一人ひとりの学校生活において充実した学びや活動ができるように、また、保護者の皆様方が安心してお子様を通わせることができる、地域の方々から信頼される学校づくりを職員一同進めて参ります。そうした学校にしていくためには課題もありますが、一つ一つ丁寧に進めていきたいと考えております。西合志中央小学校に関係される皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 1年を振り返って（個人的に）・・・

今、今年1年を振り返りながら改めて感じていることがあります。それは、一人で考えずに「周りに聞く」ということが増えたことです。若いときは「人に聞く、尋ねる」ということができませんでした。人に聞くことで「この人は、こんなこともできないのか。分からないのか。」と思われるのではないかとという変なプライドが邪魔をしていたような気がします。人に良く思われたい、出来る人間であると思われたいという気持ちは、学級担任時代は特に強かったように思います。そんな自分が、今になって周りを頼る事を抵抗なく出来ているのは、担任時代から同僚と話をし、一緒に考えるということを常にやっていたからだと思います。要するに、人とのコミュニケーションが取れていたということが大きいと思います。では、そのコミュニケーション力はどのようにして身につけたのかというと、対話をする中で多くの失敗をしてきたからだだと思います。相手の事を考えずに、その時思ったことをすぐに言葉に出していた小中学校時代、そのことでトラブルが絶えませんでした。人を傷つけたり、自分がこっぴどくやられたりということを繰り返していました。高校生になると少しずつ自分自身の言動を後悔したり、反省したり、トラブルの原因は自分自身にあるという見方や考え方ができるようになってきました。勿論、その後も意見の食い違いなどでもめることはありましたが、相手の意見や考えを認めながら尊重できるようになってきました。多くの人との関わりがあり、その中で自分自身を見つめることを年齢を重ねながらできるようになったことで、今の自分があるのだということを改めて感じている今日この頃です。

